

日鐵二瀬從業員支持及日鐵糾彈演説會

主催 九州鐵山坑夫組合

場所 高松郡二瀬町

参加者 約五〇〇名（内坑夫約四〇〇名）

3、二月十三日 自午後一時

日鐵二瀬鐵業所糾彈演説會

主催 西鐵筑豊聯合會

場所 高松郡二瀬町

参加者 約五〇〇名（坑内大部分）

十二、解決 狀 況

かくして本争議は漸次尖鋭化し他鐵山への影響も憂慮せられるに至りたる爲臨時高松並所轄飯塚署に於ては協力斡旋に努めたるも容易に解決の曙光見へず双方強硬なる態度を保持した

のであるが遂に争議團員中資金の缺乏と會社側の切崩し應ずる者出で先ず十五日朝中央坑の日輪夫が年功打切を撤回し新要求を提出すべく十六日代表四名が庶務課長と會見したる結果漸く左記の通にて解決せり。

- 1、年功打切 撤回不可能
- 2、賃金値上 不可能
- 3、從來の十一時間を十時間とし残り時間は時間拂とす
- 4、半期賞與増額は幾分考慮する
- 5、二十五才に達する者にて十年未満の勤續簿繪者に對する大巾値上は本年三月迄に實施する
- 6、昇給定期年限に達する者に對しては今後公平に取扱ふ
- 7、本争議に犠牲者を出さざること 承認
- 8、本争議による缺勤者は出勤者と做すこと 承認